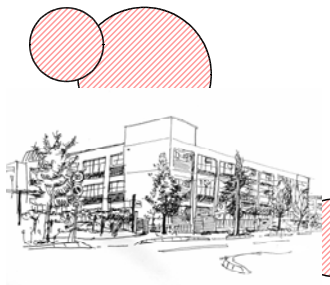
明星中学校だより 知と和と粘り



〒 070-0025 旭川市東５条１丁目
Tel 0166-26-0468　　Fax26-0469
E-mail:　myojyo@myojyo.jhs.asahikawa-hkd.ed.jp

■発行責任者　校長　増茂　薫　　■発行日　平成２４年５月１６日　◇第２号◇

シリーズ　部活動

バレー部主将　木下　美咲

４月21日・22日の大会では，「シードポイントを取る」という目標を立て，試合に挑みました。私達の持ち味である「明るく元気」を活かした粘り強いプレーをすることができたと思います。そして，互いに感謝の気持ちを忘れず，信じ合うことで強豪相手にも自信もって戦えると確信しています。今よりも，さらに輝く明星バレー部となり，たくさんの人に感動を与えるトータルバレーを目指していきます。

（写真は，４／21（土）に本校体育館で行われたバレー祭）

【広い体育館も，二ゲームが同時に進行するとなるとやや手狭な印象。しかし，審判団や得点掲示・記録係はもちろん，応援の保護者の皆さんも，いて良い場所いるべき場所を心得ており，試合の流れを乱さない。明星中の強烈なサーブが，相手のレシーブをくずす展開が多かった。待機場所で大きな声援を送り，効率的ですばやいモップ拭きを行う選手みんなで翌日も連勝し，勝ち取ったベスト８は立派である。（文責　上中）】

教職大学院教育実習生

『北海道教育大学教職大学院から来ました，実習生の林　亮輔です。専門教科は，理科です。明星中学校に来て，すでに何日も経ちますが，生徒の皆さんの挨拶や礼，授業を受ける姿勢など，中学生としてお手本のような姿を見て，明星中の素晴らしさを日々感じています。同時に，先生方の指導力の高さを実感しています。二ヵ月半という短い期間ですが，明星中学校の文化に触れ，さまざまなことを学びたいと思っています。よろしくお願いします。』

◆ ◆ ◆ ◆ ◆ ◆ ◆ ◆ ◆ ◆ ◆ ◆ ◆ ◆ ◆ ◆ ◆ ◆ ◆

4/16日から，２年３組配属として頑張っています。大学４年時に教員採用試験に合格しながらも，それを蹴って大学院に進学。在学中（教職大学院の講義は夜間なので），附属中学校で時間講師の経験もあり，将来を嘱望される若い教師の卵です。休日には，本校バスケット部の試合にかけつけ，応援してくれる素晴らしい実習生です。6/29まで。

『宿泊研修がスムーズに進められそうです』

修学旅行中間発表会

函館を中心とした道南・道央方面への修学旅行から帰着して，振替休業明けの３年生が本日，元気に登校しました。旅行出発前の４月２５日に，修学旅行中間発表会が体育館にて行われました。

来年，修学旅行を控える２年生に対して，旅行の概要やこれまでの取組の様子について，３年生から発表がありました。司会を務める山口晃一君（３－３）の進行や実行委員長の神田　愛さん（３－３）の挨拶も，よく鍛えられているなという印象でした。一朝一夕には，できない素晴らしさがあります。その後，マイクの前に登場するすべての３年生は，名前を呼ばれたら大きな声で返事するのですが，この声がだんだんとはっきりと大きくなるだけに，委員の皆さんの意気込みの高さが伝わります。

後半の２５分間は，２・３年生が３グループに分かれ向かい合って，何とディスカッション！これから，２年生が取り組む宿泊研修について，疑問点を出して，３年生がそれに答える形式です。「バスの中では，どのようなことをしたらみんなが楽しめますか？」「就寝時間が守れないような時は，どうしましたか？」など，いかにも中学生が抱く素朴な内容に，３年生も自ら挙手して回答します。ここには，シナリオやヤラセは，一切ありません。それだけに，６０人ほどが向かい合う間に立つ司会役の３年生（それぞれ３人）の役割は，相当に難しい。しかし，同じような質問をまとめたり，声が皆に届かないような時は言い直したり，質問や回答の趣旨があいまいだと感じたときは確認するなど，それはそれは見事な司会進行ぶりでした。この３人の分担も，シナリオなしというから本当に驚きです。

３年ディスカッション司会

質問する柴田君（2-2）

最後は，２年生を代表して宮澤　葵さん（２－３）がお礼の言葉を述べました。

『今回は，私達のために，修学旅行中間発表会を開いていただき，ありがとうございました。今日，先輩方が教えて下さった修学旅行の目的，行程，さらにスローガンの意味を聴き，ますます来年の修学旅行が楽しみになりました。そして，今年，私達が行く宿泊研修を成功させるために，ディスカッションを行っていただき，宿泊研修の目的や苦労した点，活動内容などがわかりました。私達の小さな疑問にも，詳しくとてもていねいに説明して下さったことで，宿泊研修がとても楽しみになりました。今回，先輩方のおかげで，スムーズに進められそうです。大成功になることを期待していて下さい。最後になりますが，先輩方も修学旅行を存分に楽しんできて下さい。今日は，本当にありがとうございました。』

質問に答える大坪君（3-1）

お礼を述べる宮澤さん

インフルエンザの感染拡大を防ぐため，林実習生の紹介は，（全校集会ではなく）校内放送で行うことになりました。この時の，放送委員は弓良芽生さん（２－２）と時田竜雅君（１－１）でした。弓良さんは，放送機器の操作に習熟しており，マイクで話ができるようテキパキと用意してくれました。放送が終わった時ふり返ると，給食も食べずに二人が起立したままでびっくりしました。（教室の皆と同じように）聞きながら食べてくれて，よかったのに…。異学年の二人が，こうやって放送室で校内放送を担当し，後輩がやがて先輩になるんだなぁと思いました。